

☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和7年7月～令和7年9月)

畜種	牛		とく		豚		山羊	
と畜検査頭数	986		3		17,288		0	
廃棄の区分	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄
実頭数	6	464	0	3	6	10,214	0	0
廃棄の原因	放線菌症	0	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	318	0
	ジストマ	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	0	0	0	0	4	0	0
	敗血症	2	0	0	0	2	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	0	101	0	0	0	107	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	274	0	1	0	7,478	0
	変性萎縮	0	167	0	1	0	3,458	0
	牛伝染性リンパ腫	4	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	67	0	3	0	633	0	
計	6	609	0	5	6	11994	0	

一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。

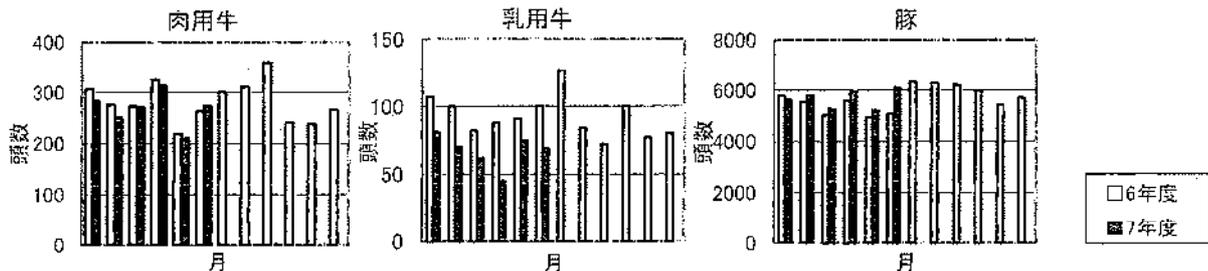


■ 全部廃棄 ▨ 一部廃棄 □ 廃棄なし

◎と畜検査頭数の推移 (令和7年度) (とくを除く)

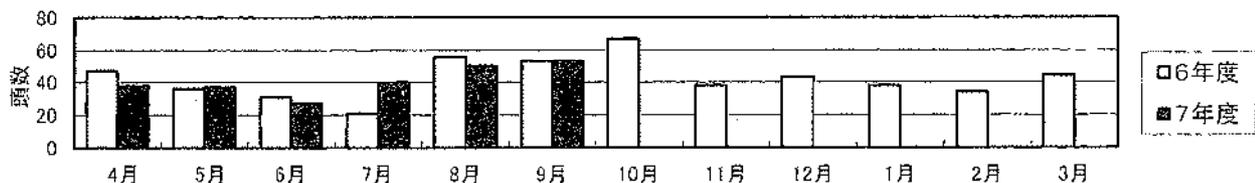
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度肉用牛	307	276	273	325	219	263	301	311	358	241	238	266	3,378
7年度肉用牛	283	252	271	313	210	274							1,603
前年比(%)	92.2	91.3	99.3	96.3	95.9	104.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.5
6年度乳用牛	107	100	82	88	91	100	126	84	72	100	77	80	1,107
7年度乳用牛	81	70	62	45	75	69							402
前年比(%)	75.7	70.0	75.6	51.1	82.4	69.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.3
6年度豚	5794	5551	5009	5588	4943	5084	6331	6296	6221	5979	5454	5699	67,949
7年度豚	5623	5792	5266	5972	5208	6108							33,969
前年比(%)	97.0	104.3	105.1	106.9	105.4	120.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数 (令和7年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度	47	36	31	21	56	53	67	38	43	38	34	44	508
7年度	38	37	27	40	50	53							245
前年比(%)	80.9	102.8	87.1	190.5	89.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.2



7月～9月の病獣畜143頭の内訳は、牛およびとくが83頭、豚が60頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数 (令和7年7月～令和7年9月)

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
7:00～12:00	142	142	0	99.3
時間外(上記以外)	1	1	0	0.7
長期休場等	0	0	0	0.0
合計	143	143	0	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数 (令和7年7月～令和7年9月)

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	12	1	1	47	9	2	2	0	0	4	64	142
(うち時間外)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
頭数割合(%)	8.5	0.7	0.7	33.1	6.3	1.4	1.4	0.0	0.0	2.8	45.1	

☆検査室等における精密検査 (令和7年7月～令和7年9月)

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数				
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子						病理組織	肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学			遺伝子	病理組織		
牛及びとく	3	敗血症			24					2	1	豚	2	敗血症			16						2	0	
		膿毒症									0		4	膿毒症	4									4	0
	1	尿毒症						1			1			尿毒症											0
		高度の黄疸									0			高度の黄疸											0
		高度の水腫									0			高度の水腫											0
	4	牛伝染性リンパ腫					4		36	4	0		1	豚丹毒			4								1
		腫瘍の多発									0			白血病											0
	8	計		0	0	24	0	5	0	36	6		2	7	計	4	0	20	0	0	0	0	0	0	6

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査 (令和7年7月～令和7年9月)

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	2	4	1	1	0	1	0	0	0	3
	病畜	83	166	83	0	0	0	0	0	0	166
豚	保留	10	20	10	0	0	0	0	0	0	20
	病畜	61	122	61	0	0	0	0	0	0	122
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	6	12	6	0
豚	30	60	30	0
鶏	0	0	0	0

◎BSE (牛海綿状脳症) スクリーニング検査

令和7年7月～令和7年9月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

(平成29年4月1日以降、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施)

発行: 岡山市食肉衛生検査所

TEL: 086-272-8399

FAX: 086-273-2019

E-mail: shokunikueiseikensasho@city.okayama.lg.jp

郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。

1～3ページについて、ホームページでも公開しています。

<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>